

- このたびは、漏電遮断器をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
- 施工前に施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 施工完了後、この説明書を必ず取扱者様へお渡しください。

型式:GB-52NA

パールテクト専用

■施工上のご注意

※裏面「安全上のご注意」も併せてお読みください。

⚠ 注意

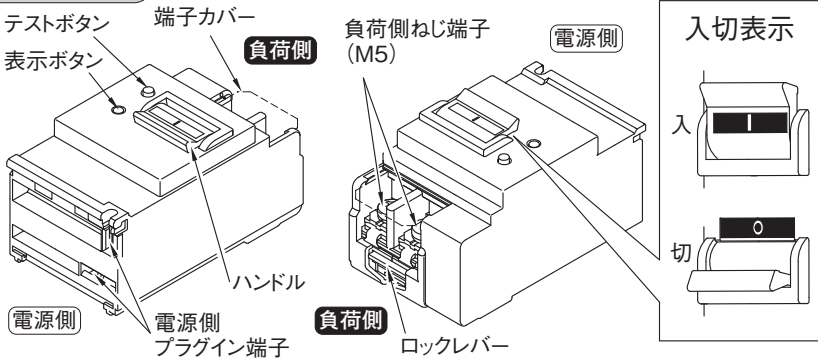
禁止

- 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動衝撃など異常な環境に設置しないでください。感電、火災、不動作のおそれがあります。

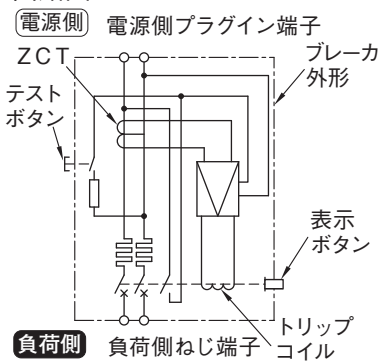
厳守

- テンパール工業製住宅用分電盤パールテクト専用品です。テンパール工業製の他の分電盤、他社製分電盤には取り付けできません。無理に取り付けた場合、火災のおそれがあります。
- 電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- 電源側プラグイン端子はバーへ確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。
- 負荷側ねじ端子への接続は圧着端子を使用し、端子ねじを規定トルクで確実に締め付けてください。
- 端子ねじの締め付けが不十分な場合や不適切な接続を行った場合、火災のおそれがあります。
- 配線作業は上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。
- ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物および雨水等が遮断器内部に入らないように施工してください。
- 感電、火災、不動作のおそれがあります。
- 取り付け後は必ずテストボタンを押して動作を確認してください。
- 負荷側の絶縁測定は、遮断器を切「○」にしてから行ってください。
- 遮断器が切「○」であれば、電線を接続した状態でも測定可能です。
- ブレーカの動作で二次的な影響を受ける負荷には警報回路を併用してください。（内線規程）
- 連続負荷を有する分岐回路に使用する場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。（内線規程）
- 本製品はAC200V回路専用です。

各部の名称



回路図



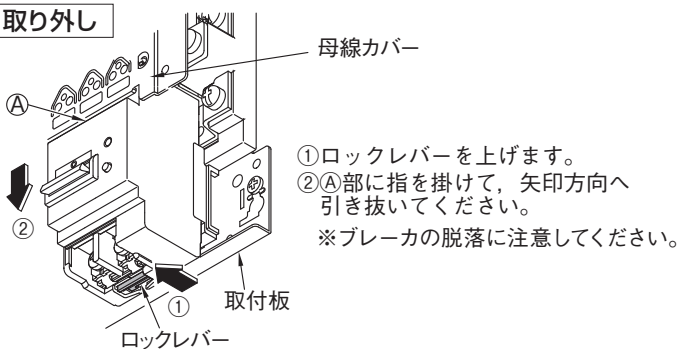
本体の取り外し・取り付け

⚠ 注意

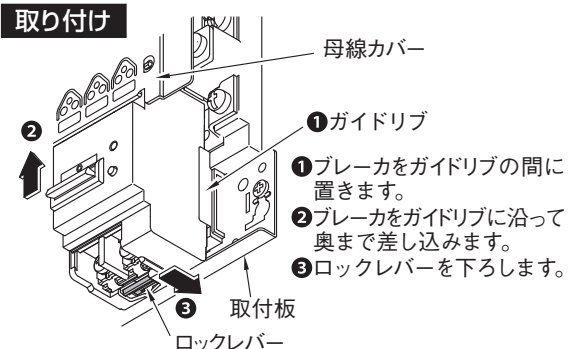


必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。母線カバーは取り外すことができません。無理に取り外そうとすると、感電のおそれがあります。

取り外し



取り付け



負荷側ねじ端子への電線接続

- ①負荷側ねじ端子への電線接続は、M5またはM6用圧着端子を使用し端子ねじを規定トルクで確実に締め付けてください。ただし、8mm²の電線で圧着端子を2個合わせて接続する場合、下側（端子板側）圧着端子はM6用圧着端子を使用してください。
- ②接続する電線は下表のサイズより線を使用してください。その際、より線のハンダ上げは行わないでください。また、絶縁キャップを必ず使用してください。
- ③圧着端子の圧着は、適合圧着工具を使用してください。
- ④電線接続後は、付属の端子カバーを取り付けてください。

■規定トルク

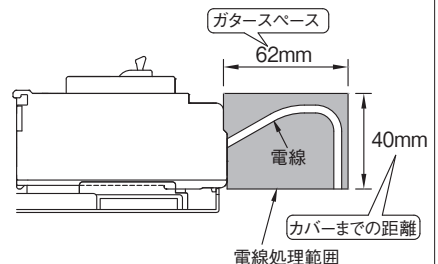
端子ねじの呼び径	規定トルク(N・m)
M5	2.5~3.5

■適合電線・圧着端子のサイズ

定格電流	接続可能電線	適合圧着端子
40A	8mm ²	R 8 -5または6
50A	14mm ²	R 14 -5または6

注)接続電線は電線処理範囲内で配線してください。

範囲外に出ますと、カバーを取り付けることができません。また、電線被覆を傷つけ、感電・短絡の原因となるおそれがあります。



- このたびは、漏電遮断器をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

パールテクト専用

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟知してからご使用ください。
この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。



危険

：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を招く可能性が想定される場合。



注意

：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷害を招く可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上のご注意

危険		注意			
	接触禁止		厳守	●漏電遮断器は行きの電流と帰りの電流との差が規定以上になった時に動作する仕組みとなっており、2本の線（両線間）を握った場合は漏電検出しません。よって2箇所の裸充電部には絶対に触らないでください。 感電時に動作しません。	●電気工事は、有資格者（電気工事士）に依頼してください。
				●端子部に触れないでください。 感電のおそれがあります。	●自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを入「 」にしてください。感電、火災のおそれがあります。
			アース接続	●テストボタンを押して動作を確認してください。 漏電遮断器が切「○」にならない場合は故障です。電気工事店に連絡してください。	●漏電で遮断したときおよびテスト動作時には、表示ボタンが飛び出します。 ブレーカの再投入後、表示ボタンを押し込んでください。
				●電気機器のアース端子は必ず接地してください。	

■保守・点検上のご注意

注意	
	厳守
●保守・点検は、専門知識を有する人が行ってください。	●保守・点検は、上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。 感電、短絡のおそれがあります。
●端子ねじは、定期的に増し締めしてください。火災のおそれがあります。	

施工電気工事者名

TEL ()
施工年月日 年 月 日

商品および取扱説明書の内容についてご不明な点がございましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。